

## 心をつないだ運動会

ご声援ありがとうございました その3



今年度は、天候を考慮して、急遽プログラムを入れ替え、半日開催としました。レース数によっておよその時間が読める徒競走や走る人数が決まっているリレーなど異なり、表現やブロック競技、綱引き、玉入れ等、予想外に時間がかかってしまった種目もありました。そのため、終了が12時半をまわり、高学年児童には遅い下校となり、気の毒な思いをさせていただきました。ただ、開始時刻をもう少し早めて、各種目の時間短縮を図れば、PTA競技も含めての半日開催も十分に可能です。

今年は、当日が涼しい日となりましたが、この十数年、温暖化が急激に進んでいます。いつまでも残暑が続き、10月初めくらいまで、昼間は半袖で過ごせるくらいの気温の日が多くなってきています。気温については、9月半ばでも終盤でも、ほとんど変わりません。また、練習日数についても、8月31日まで夏休みがあった10年前も、9月25日前後に運動会を行っていた学校が多かったと思います。夏休みが明けてから約3週間半後ですが、祝日の日数を考えれば、条件は、今年とほとんど同じです。本校も、8月25日2学期始業で、9月12日・17日・18日に開催した年度もあります。

長引く夏、高温多湿の中で、食べ物が傷みやすいことを考慮すると、お弁当がないことは衛生上の利点であるとも考えられます。低学年の児童は、昼食後に眠気や疲労が出てしまうことも多いので、気が張っている内に、一気に進行してしまう方がいいようにも感じます。練習もやり繰り次第で、高学年が組み立てを行うとすれば、1学期から始めて、夏休み中に腕立て伏せや倒立などの自主練習に取り組みせておいた方が、かえっていいようにも思います。

一方、年に一度のことなので、早朝から手作り弁当を用意して、一家揃ってゆっくり楽しむことが、運動会の意義の一つでもあるという考えもあります。昼食休憩をはさんで、午前2時間半程度、午後1時間半程度とした方が健康的であるという意見もあるでしょう。

桐生市内では、児童数の減少に伴い、半日で運動会を実施する学校も徐々に増えてきました。朝の涼しい時間に始めて早く競技を終了し、午後は家族でゆっくり過ごす。従来通り、昼食をはさんで、午前の部・午後の部に分けて行う。考え方には、どちらにも長所・短所があります。

このところ教員の加重労働が報道されてはいますが、新指導要領の施行に伴い、道徳の教科化や外国語科の導入など、学校の仕事量、教員の負担は増える一方です。どこかで思い切った改革の手を打たないと、学校現場はパンクしてしまいます。『スクラップ&ビルド』の視点から捉えると、今年の運動会はその一つのきっかけを与えてくれたものとも思います。保護者の皆様のご意見も参考にしながら、来年度の学校行事等の在り方を決めていきたいと考えております。ご意見をお聞かせ願えれば幸いです。

# 表現演技



1・2年 アロハでスマイル



3・4年 西小ソーラン



←5・6年 絆 Forever ↑

ふれあい八木節 ↓



## 団対抗リレー



←3・4年 選手

5・6年 選手 ↓

←1・2年 選手



